

フランスの雰囲気

弘前で 市民ら文化を体験

フランス文化を体験できるイベント「フランス日和」が26日、弘前市土手町の蓬萊広場で開かれた。雑貨や飲食などさまざまな出店が設けられた会場を多くの市民が訪れ、休日のひとつを楽しんだ。

弘前大学の学生団体「弘前グローバル・アクション」が主催。7回目となる今回は、会場の模様のライブ配信や出店規模の縮小など新型コロナウイルス対策を講じて開催した。イベントでは恒例の手回しオルガンの演奏や「オー

・シャンゼリゼ」をフランス語で歌い踊る参加型企画、小物づくりやカルタ、占いなどのワークショップを実施。他県の大学教員たちをリモートでつないで弘前や青森について語るオンライントークなども行われた。

会場では「ボンジュール」「メルシー」といったフランス語のやりとりが交わされ、訪れた市民が楽しい時間を過ごした。同団体では自前の手回しオルガン取得を目指したクラウドファンディング(<https://camp-fire.jp/projects/view/292056>)にも

挑戦中。藤木亜美代表は「イベントを通じて自分たちの活動も知ってもらえれば」としている。
(福田藍至)



多くの市民でにぎわった「フランス日和」

この画像は当該ページに限って陸奥新報社が利用を許諾したものです